



公明党
三上 裕久

滝川国際交流協会の補助金について

質問 協会への補助金の積算根拠およびどの事業に対する補助金なのかを伺う。

答弁 米国スプリングフィールド市へ中高生を派遣する国際交流事業など、4事業の管理運営の人件費などに補助しています。

質問 これまでに蓄えた協会の基金を削りながら補助金なしで事業運営を行うことについて、今までに協会と交渉した経緯があるのかを伺う。

答弁 今までに交渉した経緯はありませんが、今後においては、協会が自主自立性を高めた運営ができるように考えています。

財政改革の推進について

質問 滝川市立病院経営改善計画実施業務の委託料の継続理由を伺う。

答弁 昨年2月に滝川市立病院の

経営分析支援業務の企画提案を募集した際に経営改善計画の策定だけでなく、次年度以降の計画実行の進捗管理やスタッフの調整などプロジェクトを実施するための支援業務も委託したためです。

質問 経営改善計画でやることは、はつきりしている。問題は、事業運営会議で決定した事項が全スタッフに指示徹底されてこなかったことであると考えるが、見解を伺う。

答弁 本事業の実施について、市役所・市立病院が一体となって取り組む最重要課題であり、コンサルタントの力を借りて、この取り組みを定着させ改善への軌道に乗せたいと考えています。

職員の人件費について

質問 3月末退職者と令和2年度新規職員採用者との職員費の差額を伺う。

答弁 予算ベースの比較で4、600万円となります。

質問 毎年度、職員の新規採用をする根拠を伺う。

答弁 地方公務員法の任用の逐条解説などに明記されておりますが、行政サービスの低下を招かないよ

う定年退職などで発生する欠員を補充し、また、資格を必要とする業務などに対応するために新規採用を行っていると思います。仮に採用を行わなければ、欠員が埋まらないばかりか、職員の年齢構成に隔たりが発生することが予想されます。

質問 市の財政が厳しい時期に11人の方が退職され、新年度に11人を採用される。先ほど差額が4、600万円になるということだったが、今後数年間、新規採用を行わないことで差額はもっと大きくなるかと考えるが、見解を伺う。

答弁 あくまでも欠員に対して採用を行うとともに、今後の資格を必要とする業務などを勘案しながら適正な職員数を配置するという基本は変わりません。市民サービスの低下を招かないよう適正な職員数に努めています。今後においても行政サービスに見合う適正な組織・人員体制を心がけていきます。

質問 令和2年度の超過勤務手当予算は、各部・課からの要望などによっての積算なのかを伺う。

答弁 各費目に職員の給与の総額に一定の割合を乗じて積算してい

ます。

質問 本来、部・課で業務量が違うはずだが、各業務量に見合った積算であるべきと考えるが伺う。

答弁 職場の業務量に応じて年6%だとか、年10%だとかメリハリをつけて積算しており、超過勤務手当の縮減についても勤務時間の変更や振り替え休日を取ってもらうなど、超過勤務とならないよう努めています。

質問 これだけ財政が厳しくなってくると、職員の皆さんは、また自分たちの給与が減らされると考え、やる気をなくすと思う。数年間は、新規採用を見合わせようと考えなかったのか伺う。

答弁 市役所という組織のことを考えたときに人材が非常に大切であり、しっかりと人を育てていくことが市民サービスを維持し、向上することにつながると考えています。

職員の皆さんにとっては、給与削減となるとモチベーションが下がるという懸念もありますが、別な方法でモチベーションが下がらないよう考えて努力していきます。給与削減ありきではありません。